

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	ADゲル
会社名	クラレノリタケデンタル株式会社
住所	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー
担当部署	品質保証室
電話番号	03-6701-1730
Fax番号	03-6701-1805
緊急連絡先	0120-330-922 (月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00) 050-3499-2717 (上記フリーダイヤル営業時間外)
推奨用途及び使用上の制限	医薬品含有歯面処理材
整理番号	041

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険	GHS分類に該当する項目はない	
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分1

シンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策	<ul style="list-style-type: none">・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。・取扱い後は手、顔をよく洗うこと。・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。・環境への放出を避けること。・使用前に添付文書を入手すること。・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">・飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。・皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。・汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。・直ちに医師に連絡すること。

- ・気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- 保管
 - ・直射日光を避け、冷所に保管すること(2~8℃)。
 - ・容器を密閉しておくこと。
- 廃棄
 - ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度 (%)	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値)		PRTR法 管理番号	毒劇法
				表示	通知		
次亜塩素酸ナトリウム (10~15%) 含有水溶液※1	80~90	7681-52-9	1-237	非該当	非該当	非該当	非該当
酸化アルミニウム※2	10~20	1344-28-1	1-23	≥1%	≥1%	非該当	非該当

※1 特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分2(全身毒性)

※2 特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(吸入:肺)

4. 応急措置

- 吸入した場合
 - 新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。
 - 直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合
 - 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、又は取り除く。
 - 皮膚を石鹸と多量の流水又はシャワーで洗う。
 - 直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合
 - 水で15分間注意深く洗う。その際、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
 - 直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合
 - 水で口の中をよくすすぐ。無理に吐かせないこと。
 - 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤
 - 本品は燃焼しない。
- 使ってはならない消火剤
 -
- 特有の危険有害性
 - 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
- 特有の消火方法
 - 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 - 移動できない場合は、放水により容器を冷却する。
 - 周囲の火災に適した消火剤で消火する。
 - 適切な保護具を着用して消火活動に当たる。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項
保護具及び緊急措置
 - 作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
 - 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
 - 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項
回収・中和
封じ込め及び浄化方法・機材
 - 流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。
 - 適切なウエス、ペーパー等で拭き取るかスコップ等ですくい取り適切な容器に回収する。
 - 適応される規制に従って廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の適切な保護具を着用する。 取扱いは換気の良い場所で行う。 取扱い場所の近くに洗眼器及び緊急シャワー設備を設置する。 蒸気、ミスを吸い込まないようにする。 使用前に添付文書をよく読む。 本品に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある作業者は使用しない。
衛生対策	取扱い後に手、顔等をよく洗う。

保管

保管条件	直射日光を避け、冷所に保管する(2~8℃)。 混触危険物から隔離して保管する。 容器を密閉する。
容器包装材料	オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定

(作業環境評価基準)

許容濃度

日本産業衛生学会	酸化アルミニウム	吸入性粉塵	0.5mg/m ³	総粉塵	2mg/m ³ (第1種粉塵)
ACGIH	酸化アルミニウム	TLV-TWA	10mg/m ³		

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて防毒マスク
手の保護具	不浸透性の適切な保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣
衛生対策	休憩前、作業終了時に手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	ゲル状
色	乳白色
臭い	塩素臭
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	不燃性
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	約12
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
水	情報なし
有機溶剤	情報なし
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1.2 g/cm ³
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性)	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	酸と接触すると反応して、塩素ガスを発生する。
化学的安定性	日光や熱などにより分解する。
危険有害反応可能性	酸と接触すると反応して、塩素ガスを発生する。
避けるべき条件	日光、加熱
混触危険物質	酸、アルミニウム、すず、亜鉛
危険有害な分解生成物	塩素

11. 有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性

経口

次亜塩素酸ナトリウム ラット LD₅₀=8.8 g/kg(有効塩素12.5%溶液)

酸化アルミニウム ラット LD₅₀ >5,000mg/kg

経皮

次亜塩素酸ナトリウム ウサギ LD₅₀> 10,000 mg/kg

吸入

情報なし

皮膚腐食性/刺激性

次亜塩素酸ナトリウム 皮膚腐食性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

次亜塩素酸ナトリウム 重篤な眼の損傷

呼吸器感作性

情報なし

皮膚感作性

次亜塩素酸ナトリウム 区分外

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

次亜塩素酸ナトリウム IARC グループ3

酸化アルミニウム ヒト発がん性因子として分類できない。

生殖毒性

情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

次亜塩素酸ナトリウム プールでばく露されたヒトで眼及び上気道に刺激性を示したとの事例報告、及びエアロゾルを吸入ばく露したマウスの実験で気道刺激性が認められたとの記述から、区分3(気道刺激性)とした。

酸化アルミニウム 区分3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

次亜塩素酸ナトリウム マウスの2年間飲水投与試験では区分2のガイダンス値の範囲内の用量(58 mg/kg/day相当)で体重の低値がみられたが、病理検査では異常がなく、標的臓器が不明のため、区分2(全身毒性)とした。

酸化アルミニウム 区分1(肺;吸入)

誤えん有害性

情報なし

12. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

生態毒性

[水生環境有害性 短期(急性):区分1]

[水生環境有害性 長期(慢性):区分1]

次亜塩素酸ナトリウム 甲殻類(ネコゼミシコ属) EC₅₀=0.005mg/L(24時間)

[水生環境有害性 長期(慢性):区分1]

次亜塩素酸ナトリウム 魚類の134日間NOEC = 5 μgTRC/L

酸化アルミニウム 魚類 LC₅₀ >100mg/L (96時間)

オオシジコ EC₅₀ >100mg/L (48時間)

藻類 EC₅₀ >100mg/L (72時間)

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が
その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。

UN No. : 1791

Proper Shipping Name : 次亜塩素酸ナトリウム溶液

Class : 8

Packing Group : III

航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。

UN No. : 1791

Proper Shipping Name : 次亜塩素酸ナトリウム溶液

Class : 8

Packing Group : III

国内規制

陸上輸送情報 : 消防法に従う。

海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠)

航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)

特別安全対策

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
直射日光を避けて輸送する。

緊急時応急措置指針番号

154

15. 適用法令

化審法

特段規制なし

安衛法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 : 酸化アルミニウム

化管法(PRTR法)

非該当

毒劇法

非該当

消防法

非該当

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。